

海成丸進水式



広域浜プランを基に推し進められている「浜の担い手漁船リース事業」を活用した海成丸の進水式が、平成29年12月1日に由良漁港にて執り行われました。時折小雪が舞う幻想的な天候のなか、海成丸の本間金弥さんのご家族や関係者約20名が集まり、進水を祝いました。漁船リース事業を活用した漁船は5隻となりました。今後も、漁業生産構造の改革が進むこととなります。

今後の本間さんの大漁満足と航海安全をお祈りいたします。

新年のご挨拶



山形県漁業協同組合
代表理事組合長
本間 昭志

新年 明けましておめでとございます。

平成三十年の年頭にあたり、謹んで組合員の皆様、役職員の皆様のご健勝を心からお喜び申し上げます。本年が皆様方にとって、幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げますとともに、常日頃からの当組合及び水産関係団体の事業推進に格別のご支援・ご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の我が国水産業の状況は回復しつつあると言われますが、国内及び県内においては、燃油価格の小刻みな上昇、水産資源の減少、水産物消費の低迷、漁業就業者の減少と高齢化など課題が山積しており引き続き厳しい環境下にあります。さらには、北朝鮮による度重なる弾道ミサイル発射、大和堆における北朝鮮と思われるおびただしい数の漁船による違法操業など、かつて経験したことのない脅威に直面しております。

こうした中で昨年四月には、国の新たな水産基本計画が閣議決定されました。

基本計画においては、今後の漁業生産を担っていく効率的かつ安定的な漁業経営体を育成・確保するため、代船建造を計画的に進めるための支援を行うことが明記されております。

また、浜プラン・広域浜プランの着実な実施を位置付け、浜の資源のフル活用のため必要な施策の実施を検討することとしております。

本県においてもこれまで、漁船の高齢化や機器の老朽化の進行による生産構造のぜい弱化から脱するため、国の水産施策としての漁船リース事業や機器等導入事業を活用し、中型漁船や底曳漁船を始め延べ二十八隻の船体や主機・機器類などを更新する

ことができました。これまでの総事業費は五億五千万円、補助金総額は二億五千万円を超えております。今後、底曳や定置網漁船の新造計画も予定されているところであり、着実に就業環境の改善が図られております。

特に新造船やリニューアル代船の船出は、漁業者とその家族はもとより、漁村地域と関連産業も含め、多くの人々の夢と希望が託されたところであり、しかしながら、浜を見渡すとき、漁業構造改革はまだまだ十分とは云えず、浜の活力再生をさらに推進するため、当組合およびJFグループでは先般、平成二十九年度補正予算に関し、漁船リース事業・機器等導入事業の継続と拡充を政府・与党に対し強く求めたところであります。

おかげさまで、十二月二十二日の閣議決定により前年度超えの予算が確保されたことをご報告申し上げますとともに、年齢制限や後継者の有無、セーフティネット構築事業の加入等、当該事業を活用するための一定の条件はありますが、意欲と能力のある漁業者が一人でも多く当該事業の活用により漁業構造改革に努めていただきますようお願い申し上げます。

さて、当組合の状況であります。底曳網漁業やえなわ漁業を始めとする沿岸漁業が総じて不振となるとともに、県外船が中心の小型いか釣漁業も十一月以降漁場形成されず、更には沖合漁業の中型いか釣漁業も漁期最終盤になって満足な漁ができませんでした。二十六億九千五百万円程で推移しております。

今年度も残すところ三ヶ月足らずとなりましたが、年度末には、計画水揚が達成されることを期待するとともに、間近に寒たら漁の本番を迎える底曳網漁をはじめ、すべての漁業が満足のゆく漁ができることを祈らずにはいられません。

また、現行の中期経営計画も最終年度となっており、引き続き諸課題の解決に取り組むとともに、当初計画どおりの剰余金の確保により、次期中期経営計画の発射台となるよう努めてまいりたいと存じます。

現在、平成三十年度から三年間の新たな基本方針に基づく次期中期経営計画を策定中であり、

当組合が将来にわたり持続できる協同組合組織として事業を継続していくために、漁業の生産基盤である浜の活性化と、生産を担う漁業の担い手・後継者の確保と所得の向上による漁業経営の安定化に取り組んでまいっている所存であります。

また、組織運営に関しては、常にコンプライアンス意識の高揚に努めるとともに、今後も確実に組合全体の収支を黒字化できるように収支構造の改善を図り、計画的な内部留保による財務基盤の強化に努めて参る所存であります。

この次期中期経営計画案については、プロジェクト会議や役員会で十分に検討したあと、今年度の収支見込みも併せて、二月下旬以降順次開催の各地区座談会において組合員の皆様にご説明申し上げる予定となっております。

ところで、今年の干支にあたる「戊戌（つちのえいぬ）」は「変化」の年と云われ、これまでのルールや慣習にこだわらず新しい動きが生まれる年とも言われております。

「変化」とは、判断を誤れば悪い方向への変化ともなりうる場所でもあります。当組合として、道を誤ることなく、より良い方向に「変化」するためには、将来経営の足かせとなりうるものを切り捨てる等、組織機構に大ナタを振るうことも選択肢に入れなければならないと考えております。

まさに今年こそ当組合が次の目標に向かって新たな一歩を踏み出す年となり、飛躍できるチャンスOfYearにならんことを祈念するものであります。最後になりましたが、私こと、昨年六月の総代会にて当組合の代表理事組合長に就任させていただき、早や半年が経過いたしました。

この間、組合員の皆様、役職員の皆様から支えていただいておりますことに改めて感謝申し上げます。日々、その責任の重さを痛感しているところであり、今後とも全力を挙げて経営にあたってまいります。お誓い申し上げますとともに、この一年が皆様にとって豊漁の年となりますよう、また、組合員、役職員の皆様方並びにご家族の皆様にとりまして、

多き年でありますようにご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



日本漁船保険組合
山形県支所運営委員長

伊原 光臣

平成三十年の新年を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。平素は漁船保険業務に格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、漁船保険は昨年四月に全国45の漁船保険組合と漁船保険中央会を統合一元化し、「日本漁船保険組合」を設立いたしました。財務基盤の充実、組合員サービスの向上、さらに現行制度の強化を図ることにより、将来にわたってより一層安定した保険を提供してまいります。

最近、日本の排他的経済水域内における外国漁船の違法操業や、北朝鮮のミサイル問題が漁業界の大きな問題となっておりますが、一元化を機に「戦乱等特約」を新設し、これらの危険に対応する体制を整えました。

今後も漁船保険に与えられた役割を的確に果たし、漁業者の皆様を安心をもたらし、制度であるため、そして「漁業者のための漁船保険」であり続けるため、役員一同、一丸となって業務に邁進していく所存です。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして、明るく実り多き年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



全国合同漁業共済組合
山形県事務所運営委員長

本間 昭志

新年明けましておめでとうございます。新春にあたり、皆様の本年のご多幸を心よりご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと記録的な不漁や時化の長期化による出漁不足の減少、北朝鮮を発端とする様々な諸問題など漁業経営を脅かす事象が多数発生し、セーフティーネットとして「ぎよさい」と「積立ぶらす」が果たすべき役割の重要性を改めて認識する年となりました。

このようなか国は平成29年から5年間の新たな水産基本計画を閣議決定し、「ぎよさい」と「積立ぶらす」は災害対策・収入安定対策・担い手対策の一環として、漁業経営の安定を担う重要な事業と位置付けられました。

新年を迎え、この一年が災害の無い豊漁の年となることを祈念するとともに、「ぎよさい」と「積立ぶらす」が万が一の備えとして漁業経営をサポートできるよう一丸となって努めて参りますので、本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年おめでとうございます。新しい年を迎え、組合員の皆様、役職員の皆様のご健勝を心よりお慶び申し上げます。



JF共水連
東北事業本部山形支店
山形県JF共済推進本部
本部長

本間 昭志

「二人ひとりの笑顔のために」協同の原点JF共済新3か年計画」を掲げ、チョコー・くらしキャンペーンを実施しています。今年度はこの3か年計画の初年度として、「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」取り組みを実践することで、組合員一人ひとりが笑顔になれる浜作りを目指し、主要課題である共済事業量の必達に向け、全力で取り組んでいるところであります。

こうした中、主力商品である生命共済「チョコー」は、これまでお引受出来なかった病気や、現在治療中の病気でも共済加入が可能になるよう緩和され、すでに発売している先進医療保障などを加えた「新医療共済「匠」」を提供し、また、建物総合共済「くらし」は昨年7月、風雪害・水害・地震といった自然災害による補償を、より拡充した商品改正を行い、生命・財産の保障の充実により普及拡大に努めつつ、目標達成に向けて最大限の努力を図って参りたいと考えております。

最後になりますが、平成30年が皆様方にとって、新しい幕開けになりますとともに、なお一層のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。本協会の業務につきましては、日ごろから格別の御支援、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。



山形県
漁業信用基金協会
理事長

木村 和浩

水産業を取り巻く環境が厳しさを増している中、昨年の保証件数は、前年に比べ減少はしましたが、設備投資を行う意欲的な漁業者の方々により、金額的には同程度の引受状況となっております。本協会としましては、漁業者の皆様の立場に立ち、漁船リース事業の積極的な活用など競争力強化に向けた支援につながるよう、引き続き金融の円滑化に取り組んでまいります。

また、全国的な動きとして漁業信用基金協会の広域合併が進められておりますが、本協会としましては、その状況を注視し合併参加に向けた準備にしっかり取り組みながら、財務基盤の強化を図り、漁業経営に必要な資金の円滑な借り入れに努めてまいりますので、ぜひ御利用ください。よろしくお願いいたします。

この一年の大漁と漁業関係者の皆様の御健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

● 浜を守るぎよさいとぶらす

年男さん・年女さん 大いに語る!

プロフィール

- ①自分にとって過去1年間良い事ベスト1
- ②成年にかける夢
- ③漁協に期待すること
(水産業全体でも良い)

由良
総括支所

榊原 英樹

昭和45年生まれ



大学卒業後、化学関係の会社に就職した後に磯見漁業を始め、父と切磋琢磨しながら現在に至る。

- ①新年明けましておめでとうございます。県・市・漁協からのご支援を賜り、昨年末に新造船を建造でき、良い年となりました。漁業を始めて20年、新たな気持ちで頑張ります。
- ②今年からの磯見漁業は漁獲量の減少が予想されます。戌は「守りの年」と言われていますので、健康に気を付け、安全操業を第一に、少しでも水揚げが増えるように頑張ります。
- ③近隣諸国における、いろいろな問題や事件が起きているので、漁業者が安全に安心して操業できるようにお願いします。漁獲物をよりよく出荷できるように努めますが、鮮度維持、出荷方法等、より良い方法があればご指導頂きたいです。

温海
出張所

佐藤 正幸

昭和45年生まれ



高校卒業後、静岡の企業に就職した後帰郷。父の経営する「弥恵丸」(ごち・小底)に乗船。8年前より父に代わり、船頭として日々奮闘中。

- ①明けましておめでとうございます。良いことのベスト1位から10位まで全て、家族と乗組員が大きな怪我、事故なく1年を過ごせたことです。
- ②成年にかける夢と言っているのかどうか、とにかく皆が健康で、笑って1年を過ごせることです。誰かさんが言っているように、「元気があれば何でもできる」。歳とともに、若い頃は思いもしなかった、この一言に尽きます。それに大漁なら「ワン」ダブルですね。
- ③テレビ、新聞等で「好景気」と言われています。魚価も少し、上向きになったように感じています。漁協もこのチャンスを逃さず、新たな販路の開拓と拡大、新ブランド商品の立ち上げ、情報発信の充実などによる魚価底上げに頑張ってください。

念珠関
総括支所

今野 隆

昭和45年生まれ



県立加茂水産高校卒業後、自衛隊に入隊。4年後地元に戻り、清徳丸にお世話になる。その後、父親が経営している第八住吉丸に乗船し、現在は恵徳丸で漁業に従事している。

- ①明けましておめでとうございます。良かったことと言えば、昨年ケガや事故がなく、無事に過ごせたことだと思います。今年も、安全に作業できるように頑張りたいと思います。
- ②昨春は、フグの大漁などがありました。しかしその後、11月から12月にかけての長時間化、ハタハタの漁獲減少と大変厳しいものがありました。その分、今年は豊漁を期待し、頑張っていきたいです。
- ③念珠関地区は若い後継者も多いので、魅力のある環境づくりを望んでいます。若い世代にも「魚を食べる」という文化をどんどん発信していき、魚を食べることで、少しでも漁業や水産業に興味を持ってくれる人が増えたら嬉しく思います。

豊浦
支所

禰津 勝男

昭和21年生まれ



工業高校機械科卒業後、無線通信の職業訓練校に入学。その後、主に鮭はえ縄船、中型いか釣船、沖合底曳網船に乗船。平成23年からは酒田漁業無線局の通信業務嘱託職員として勤務。近年の無線機の発達に驚きながらも昔のモールス信号が懐かしい今日この頃。

- ①土、日になれば酒田に住んでいる孫娘たちに会うのが楽しみです。また、春は山菜取り、夏は素潜りで貝採り、秋はキノコ狩りと結構忙しく定年、老後も楽しいものです。
- ②今年も健康で楽しい生活が送れたら何よりです。
- ③最近では日本海においての外国船の密漁問題、漂流船漂着、ミサイル発射情報等難しい問題が多くなっております。海上生活が長かったばかりで何も地元へ貢献できなかった私ですが、今年こそはこのようなことが円満に解決され、漁業者、水産業関係者が浜の魚市場に笑顔で集まることが出来ることを願っています。



戌年

吹浦支所

菅原 惣一

昭和21年生まれ



高校卒業後、採石会社に就職。ダンプカーや重機のオペレーターとして勤務し、休日を利用して前浜で潜水漁業等を勉強。定年退職後、所有漁船大和丸で本格的に漁業を営んでいます。

- ①皆様、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。一年間、家族が何事もなく健康で過ごせたことが1番よかった。
- ②毎年不漁続きで厳しい中ではあるが、自分に見合った無理のない操業を心がけ、家族が健康で過ごせれば幸いです。
- ③高齢化社会に伴い、漁業者の減少に歯止めがきかない状況です。新規就業者も少なく、北朝鮮関連で不安が募る中、将来が見えない現状を理解はしつつ、漁協職員も大変ご苦労だとは思いますが、「こちらから何が出来るか」を漁協、漁業者が一丸となり、共に考えていきたいと思います。

飛島支所

佐藤 秀樹

昭和33年生まれ



現在豊幸丸(2.84トン)で、一本釣、はえ縄、刺網漁業をし、夫婦で民宿を営んでおります。新鮮な魚が食べられます。自宅が支所の近くなので、満1歳の孫を連れて散歩に行きます。職員も飛島の人達もそれに大変癒されています。

- ①新年明けましておめでとうございます。これからも家族の健康と安全操業をお祈りしています。酒田にいる時は温泉で休息、市内の量販店で工具や漁具の買い物。飛島では漁具の手入、テレビ見、仲間との茶飲み。そして何より楽しい孫との散歩。そうやって1年間平穩無事に過ごせたことが何よりも良いことでした。
- ②家内安全、操業安全、大漁の年になれば願っています。
- ③私達の仕事は自然任せです。いい日もあれば悪い時もあります。日本で一番の過疎地と言ってもいい程の所に住んでいます。飛島は、高齢化等による水揚げの減少、観光客の減少と活気がありません。私達も頑張っていますので、漁協、行政による何らかの対策をお願いします。

さかた総合市場

堀 和彦

昭和21年生まれ



父親が準組合員だったため、昭和55年に譲り受け、以後兼業漁師として自分の仕事をしながら漁業に励む。平成4年に誤って組合員を辞めていたが、平成14年に兼業漁師として復帰し現在に至る。

- ①新年明けましておめでとうございます。昨年は年間を通して天候不順が続き、満足に出漁できませんでした。それでも幸いなことに、体は無事でしたので、まだまだ出漁のチャンスはあると考えています。
- ②天候次第ではありますが、今年は積極的に漁の回数を増やして水揚げしていきたいと思っています。今後10年間は漁師として頑張りたいと思っているので、それまで健康でいられることが戌年にかかる夢です。
- ③この不安定なご時世ですので、多くは望みません。ただ一つ望むなら、下げ競売ではなく上げ競売に変えていただきたいです。

加茂出張所

佐藤 辰也

昭和45年生まれ



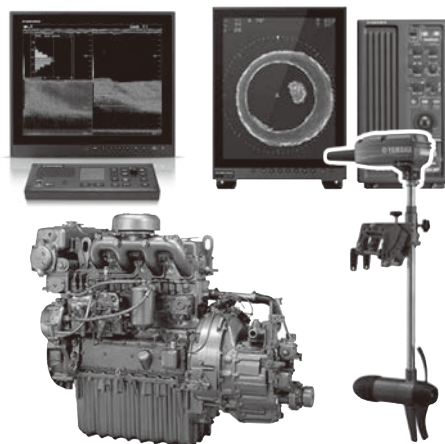
平成11年、29歳で加茂の紅ズワイカニの協和丸(当時は幸福丸)に乗船して以来、19年間カニ籠船でお世話になっております。10年前から航海士になり、現在に至っております。

- ①明けましておめでとうございます。協和丸の乗組員が昨年から増員し10名体制になり、操業に余裕ができたためか、大きな怪我や熱中症で倒れる人も無く、乗組員全員無事に操業できたことが何よりの良いことであり、これがベスト1だと思います。
- ②年男に関わらず、毎年向上心を持ち、乗組員全員で安全操業、健康管理に努めながら、航海・操業安全、大漁満足の年になれば願っています。
- ③魚価の低迷が続いております。世の中の景気が上向き、紅ズワイガニを始めとする水産物、水産加工品の価格が上昇することを期待しております。

平成29年度補正予算及び 平成30年度水産関係予算が成立します

平成29年度補正予算及び平成30年度水産関係予算が12月に閣議決定され、今後1月の国会にて正式に成立する見込みです。「水産業競争力強化のための機器等導入に対する支援」は40億円、「水産業競争力強化のための漁船導入に対する支援」は145億円の予算が確保されます。

今回の事業の内容・要件・応募期間等の詳細は不明ですが、2月下旬以降明らかになる予定ですので、情報があり次第お知らせいたします。



第26回 全国漁船保険 推進のつどい

平成29年11月8日、東京都目黒区のホテル雅叙園東京で、第26回全国漁船保険推進のつどいが開催され、全国の漁業協同組合と保険組合の役職員ら約250人が出席しました。

第一部のセレモニー冒頭では、はじめに三宅哲夫会長が「本年4月1日の日本漁船保険組合の設立以来、7ヵ月が経過した。本組合の役職員は、一丸となって保険事業に取り組んでいるが、現在、混乱なく事業が運営できているのは、漁業協同組合の皆様のご理解とご協力があったことであり、改めて御礼申し上げます。漁船保険は、不慮の事故に加え津波による損害など大規模な災害に対応できる保険であるが、4月の制度改正により、保険組合の保険事業として戦乱等特約と乗組員給与特約が新設され、漁業経営の一層の安定に資する体制が整った。引き続

き保険事業へのご理解と加入推進にご協力をお願い致します」と挨拶されました。

次いで来賓として、長谷成人水産庁長官と岸宏全漁連会長（長屋専務理事代読）が祝辞を述べられました。続いて、漁船保険組合の澤藤専務が漁船保険の現況を報告した後、優良漁協などに対する日本漁船保険組合会長特別表彰が行われました。

第二部では、宮城県漁協（宮城県）の菊地朋和指導部振興班班長、大津漁協（茨城県）の石川秀夫専務理事、三重外湾漁協長島事務所（三重県）の長井伸幸所長の3人による体験発表が行われました。

漁船保険事業に対する長年のご協力に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援・ご指導をお願い申し上げます。

● 充実補償のぎよさいとぷらす

理事会情報

平成29年度 第7回 理事会議案
 開催日…平成29年12月12日(火)
 場所…由良温泉 ホテル八乙女

【協議事項】

- 1 山形県常例検査に係る検査書及び改善状況報告書について
- 2 平成29年度上半期監事監査の結果について
- 3 理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 4 就業規則及び公印取扱規程並びに販売規程の一部変更について
- 5 休眠貯金活用法の法施行に伴う県知事への認可申請について
- 6 さくらます刺網漁業の承認について
- 7 年末年始の取扱いについて
- 8 育児・介護休業に関する規則の一部変更について

【報告事項】

- 1 平成29年11月末現在収支状況について
- 2 平成29年度山形県水産業賞の受賞について
- 3 由良市場の上屋建設に係る経過報告について
- 4 平成29年度JFマリンバンクモニタリングの結果について
- 5 組合員の加入・脱退について
- 6 全国漁連(府県漁協)・信漁連・漁済組合長合同会議について
- 7 その他

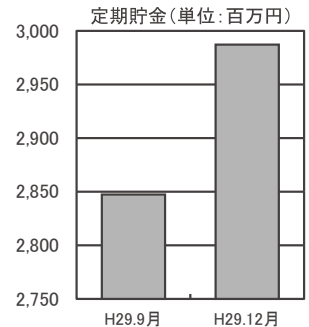
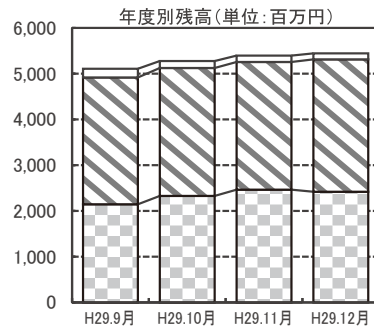
全国統一キャンペーン漁協みな貯金運動

ご協力ありがとうございました!!



当組合では、「全国統一キャンペーン漁協みな貯金運動」を平成29年10月より3ヶ月間に渡って展開してまいりました。期間中はお客様をはじめ、総代、組合員、漁協女性部ならびに関係団体の皆様からは格別なご協力を賜わり、誠にありがとうございました。

定期貯金を中心に推進し、平成29年9月末より140百万円増加で終了いたしました。



今後、年度末にも年度末貯金推進運動を展開してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

灯油宅配

推進運動展開中

冬の暖房は断然 灯油がオトク

粗品 プレゼント

山形県漁協

灯油の配達は漁協で安心・納得

お近くの支所・出張所にお気軽にお電話下さい。

吹浦支所 ☎ 0234-77-2501
 飛島支所 ☎ 0234-95-2014
 さかた総合市場 ☎ 0234-24-5617

加茂出張所 ☎ 0235-33-3328
 由良総括支所 ☎ 0235-73-3011
 豊浦支所 ☎ 0235-73-3006

温海出張所 ☎ 0235-43-3434
 念珠関総括支所 ☎ 0235-44-2100

JF 山形県漁業協同組合

● ぎよさいで安心 ぱらすで万全

第8回山形県青年・女性漁業者交流大会

12月5日(火)、漁協本所講堂にて、第8回山形県青年・女性漁業者交流大会が開催されました。研究・実践活動発表は、①県漁協女性部吹浦支部 本多寿賀子さんによる「浜の母ちゃんの加工品づくり～おつまみイカプロジェクト!～」、②山形県トラフグ研究会会長 五十嵐健生さんによる「庄内浜産天然トラフグで地域を元気に」、③枅川鮭漁業生産組合 代表理事組合長 尾形修一郎さんによる「メジカがつなぐ北海道と山形のサケふ化事業」の順で行われました。審査の結果、五十嵐健生さんの発表課題が全国大会に推薦されることになりました。五十嵐さん、おめでとうございます。



庄内総合支庁水産振興課 主任専門水産業普及指導員(兼)水産振興主査 高橋 伸明



庄内浜文化伝道師 認定証授与式

11月30日(木)庄内浜文化伝道師認定証授与式が県庄内総合支庁の講堂で行われました。今年度4年ぶりに選考会を開催し、筆記試験及び調理実技試験で成績優秀と認められた23名の方が新たに「庄内浜文化伝道師」に仲間入りしました。この日の授与式には新伝道師19名が出席し、小

野支庁長から一人ひとりに、認定証と伝道師のロゴ入りエプロンが贈られました。

平成19年より始まりました伝道師事業で、これまで伝道師やマイスターの方々から、地魚の消費拡大、魚食普及の推進に御協力いただいております。この度、伝道師になられた方々からも、ぜひ庄内浜の魚の美味しさを広く伝えていただきたいと思います。

庄内総合支庁水産振興課 水産振興主査 小林加恵子



ライフジャケット贈呈式



12月19日(火)に由良総括支所にて、各救難所へ小型船用救命胴衣の贈呈式が行われました。

贈呈は昨年につき3度目となり、社会貢献活動の一環として、庄内地方のパチンコ店業者で組織する県遊技業協同組合庄内支部(渋谷昭一支部長)が加茂、由良、豊浦、温海、念珠関の各救難所へ救命胴衣80着を贈呈。菅原義聡理事より、本間昭志救難本部長と各救難所長に救命胴衣を手渡し、「尊い人命救助等でご活躍できたら」とあいさつ。本間昭志本部長は、「各救難所に配備し、海難救助を安全かつ効率的に達成できるように有効な活動を図っていく」と感謝を述べました。

由良総括支所 佐藤 嘉高

● 浜の味方！ ぎょさいとぷらす

新医療共済



平成29年10月1日よりリニューアル!!



「持病があるから」「高齢だから」と、生命共済への加入をあきらめていませんか？

下記の簡単な告知でお申込みいただくことができます。
万一の保障に加えて、医療保障が一生にわたって受けられます。



ポイント1

ご加入年齢が
85歳まで



これまでは
75歳まで

加入可能年齢が**85歳にアップ!**

日本人の平均寿命が年々延びる中、一生にわたってケガや病気による入院保障を付加できます。

ポイント2

死亡共済金額が
最高1,000万円まで



これまでは
500万円まで

死亡共済金額が**最高1,000万円**まで加入できるようになりました!
ご自身の万一の保障をより手厚くすることができます。

万一のときにお支払いする死亡共済金は段階的に、てい増します。
災害死亡割増特約を付加すれば、さらに保障が手厚くなります。

次の告知(質問)が「いいえ」の場合であればご加入いただけます。

- ①現在、病気や外傷により安静療養中ですか。
- ②今後、入院または手術の予定がありますか。
- ③過去5年以内に、悪性新生物または脳腫瘍で治療・投薬を受けたこと、または医師に診断されたことがありますか。*1
- ④過去2年以内に、病気により入院し、または手術を受けたことがありますか。

*1:病気による入院・手術を保障する場合のみ

上記は保障の概要を説明したものです。ご契約の際は、重要な事項が記載されている「契約概要」「注意喚起情報」および「ご契約のしおり・共済約款」を必ずお読み下さい。
詳しくは山形県漁業協同組合もしくは共水連東北事業本部山形支店までお問い合わせください。

海と渚通信 vol. 16

新年明けましておめでとうございます。本年も海と渚の環境美化へのご支援、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

今回は昨年、清掃活動をされた3つの団体を紹介します。

7月30日、酒田小型船舶安全協会の皆様118名が参加し、第1・第2酒田PBS及びその周辺の清掃を行っていただきました。毎年実施していますが、例年より40人以上も多く参加し、2トントラック一台分ほどのゴミを回収していただきました。

9月9日、陽だまりの会の皆様13名が参加し、遊佐町吹浦の西浜海岸の清掃を行っていただきました。昨年に引き続き二度目の活動となりますが、今年はタバコの吸い殻が多く見受けられたとの報告がありました。

9月30日、山形県漁協女性部の皆様と関係機関、総勢37名が参加し、加茂港、湯野浜海岸の清掃及び、釣り客へゴミの持ち帰りを呼びかける啓発活動を行っていただきました。

ご協力いただいた皆様、お疲れ様でした。なお、

予算の都合上、平成29年度の助成申請の受付は終了させていただきます。来年度については、活動内容や助成申請額等、事前に事務局までご連絡くださるようお願いいたします。



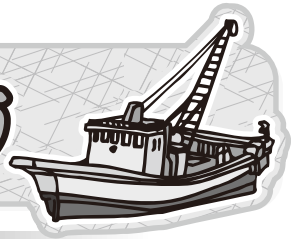
未来につなげよう
青い海と
美しい渚

お問い合わせ先
庄内総合支庁 水産振興課内
山形県海と渚環境美化推進協会
事務局 担当:今野
☎0234-24-6161

● 浜の安心! ぎよさいとぷらす



何でも魚^{うお}ツチング



～ サメ 駆除から利用へ ～



サメは、恐竜のいた1億年以上前から存在し、地球上でもっとも長く生き延びてきた種族で、人類の歴史から見ると大先輩です。現在までに全世界で900種、日本沿海に170種ほどが知られています。軟骨でできたしなやかな骨格と特徴的な体内の機能は、広い生息域・水深に適し、生態系の頂点に君臨しています。生殖についても、1尾の抱卵数は少なく、卵の中でゆっくり大きく育つものから、子宮内で共食いをするもの、へその緒から栄養をもらって大きく育つものまで多様な様式をとり、確実に子孫を増やす方法で繁栄してきた魚です。

しかし、現在ではフカヒレ原料として、ヒレだけを残し未利用部位を海に投棄し、乱獲によって個体数が減少するなど、国際的にサメ類の保護・管理が求められている状況です。

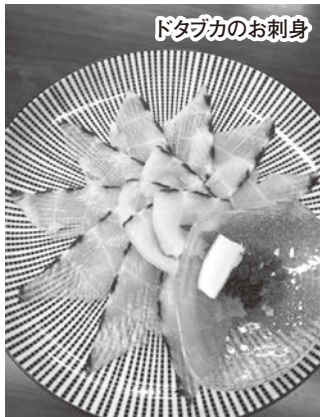
国際的な問題も大事ですが、漁業の現場からすると、釣った魚を食い散らかしたり、網を食いちぎったりと迷惑な行為をする困った一面があります。そのため試験場では、平成24年からワニザメ駆除に取り組んできました。今年度は、9月に最上丸でドタブカ1尾を捕獲することができました。今年度はただ駆除をするだけでなく、その身

の有効利用の可能性を探るため、場内で試食をしました。

調理は、試験場近くの料理人にお願いをし、次のような評価をいただきました。

- ・きれいな白身でくせが無く、十分食材として使える。身に少し酸味があるため、甘めのポン酢で食べると臭みが消える。
- ・火を通す場合は、高温だと硬くなるため、低温でじっくり火を通すことがコツ。

実食では、刺身とから揚げをいただきました。刺身は、白身と皮近くにある赤身が印象的で、ポン酢との相性は抜群でした。から揚げは、鶏肉のようにしっかりした歯ごたえがあり、こちらもおいしくいただきました。サメというとアンモニア臭がしておいしいイメージがありませんでしたが、今回の試食では、おいしく、個性的な身質に利用の可能性を感じました。



『駆除』から『利用』が可能となれば、捨てるものから売れるものへと資源の有効利用にもなり、漁業経営の支えになるものと考えています。

海洋資源部 板本 健児

～ 山形はサケの名産地 ～

遊佐町月光川水系の柞川ふ化場



撮影：石澤 誠

サケは山形県の主要な魚種であり、主に定置網や刺し網によって漁獲されています。ブリと比較されることがあり、サケとブリと2つの文化圏に分けて語られることもあります。過去5年平均の漁獲量を調べると、小型のアオコ、イナダを別にすると、ブリ113トンに対してサケは266トンであり、また、「山形県はサケの産地として名高く、最上川やその支流は本邦でも有数のサケ遡上河川であった。穀物がよく育たない冷害であっても、かえって豊漁となることもあり、救荒食料の役割を果たした」という文献の記述があることも知り、あらためて山形県はサケの文化圏だと認識したところです。

昨年、12月18～19日に海面漁業者とふ化放流事業者が会して話し合いをする「第2回サケ事業の協力体制に関する検討会」が開かれました。サケの資源はふ化放流事業者の稚魚放流に支えられていることから、ふ化放流事業者と海面漁業者の相互理解を深め、より良い協力関係を築こうという趣旨のもと平成27年から始まったもので、1日目は遊佐町の鳥海温泉「遊楽里」において意見交換会、2日目は箕輪ふ化場での採卵作業や、昨年度施設を大改修した柞川ふ化場の見学をしました。身近なサケであっても、ふ化放流事業の実際、その歴史など知らないことは多いもの。今後、この紙面枠を活用しながら、皆様にお伝えできればと考えています。

浅海増殖部 高澤 俊秀

●ぎょさいとぷらすで安心操業


水揚情報

平成29年12月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
11月末迄水揚累計		2,437,888	77,013	78,480	1,327,235	137,672	252,251	164,265	34,679	366,293
月間水揚	県内船水揚	156,562	8,282	3,033	59,376	4,142	24,469	11,786	899	44,575
	県外船水揚	101,139	0	0	101,139	0	0	0	0	0
	合計	257,701	8,282	3,033	160,515	4,142	24,469	11,786	899	44,575
前年同月水揚		822,878	11,162	9,069	689,227	7,833	32,623	12,339	3,749	56,876
本年度水揚	県内船水揚	2,023,850	85,295	81,513	829,063	141,814	275,538	176,051	35,578	398,998
	県外船水揚	671,738	0	0	658,687	0	1,181	0	0	11,870
	合計	2,695,588	85,295	81,513	1,487,750	141,814	276,719	176,051	35,578	410,868
前年度水揚累計		3,075,090	100,452	90,684	1,760,997	127,624	277,132	185,874	63,528	468,799
増減		-379,502	-15,157	-9,171	-273,247	14,190	-413	-9,823	-27,950	-57,931
本年度水揚計画		2,900,000	120,000	105,000	1,375,000	128,000	313,000	209,000	72,000	578,000
達成率		92.9%	71.0%	77.6%	108.2%	110.7%	88.4%	84.2%	49.4%	71.0%

今あがっている魚 - 12月のベストテン - 前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額(千円)				漁獲量(kg)					
1	するめいか	222,815		↘	1	するめいか	128,831		↘
2	た い	25,861		↗	2	ずわいがに	23,875		↗
3	ぶり・いなだ	25,520		↘	3	た い	17,739		↗
4	た ら	15,977		↘	4	は た は た	13,004		↘
5	さ け	12,667		↘	5	さ け	11,332		↘
6	は た は た	11,969		↘	6	ほっこくあかえび	10,555		↗
7	べにずわい	11,100		↘	7	た ら	8,561		↘
8	ほっこくあかえび	8,089		↗	8	ぶり・いなだ	5,213		↘
9	ずわいがに	4,806		↗	9	ひ ら め	3,642		↗
10	あ ん こ う	3,467		↘	10	あ ん こ う	2,413		↘

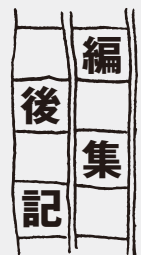
月間MVP

月間MVP

○あけましておめでとーいございます。
2017年の一文字は「北」に決まりました。
特に東北の人には「北」の文字は脅威と不安を強く感じられた一文字ではなかったのでしょうか。12月に入ってから相次ぐ北朝鮮の漂流船など。
北朝鮮スパイによる「金正男」氏の暗殺報道。さらに、相次ぐ弾道ミサイルの発射、核実験の強行等、「北」には恐怖までも感じさせられた年だったように思います。
○迎える2018年。正月は一年分の新しい命をいただくめでたい日であります。「北」の脅威と不安を払拭することも含め、除夜の鐘で穢れを払い清々しい心と体で年神様(歳徳神)を迎え、「福」を授かりたいものです。また、門松も「福」を招くための一つ。祈りや願いが叶うのを「待つ」(正月を迎える)という思いもこめられているそうです。
○気持ち新たに平和を願い迎えた正月(1月)、元日(日)、元日(その朝)。そして、一月十一日は「船玉様」。北の脅威と航海の安全・大漁満足・身体堅固などを御祈禱し、鰯・サメの大漁を祈願。浜に活気と笑顔で「たら福」をいただきたいと思います。

事業部長(兼)さかた総合市場長

佐藤 研



● 未来のためのぎょさいとぷらす

第5回Fish-1グランプリ

準グランプリ受賞!



今回で5回目となる「Fish-1グランプリ 漁師自慢の魚プライドフィッシュ料理コンテスト」が平成29年11月19日に日比谷公園で開催されました。当漁協からは誰もが山形県を代表するブランド魚と認める「庄内おぼこサワラ」を軽く炙りアツアツのご飯に乗せるだけ、シンプルに魚の味で勝負! 「庄内おぼこサワラ炙り丼」を出品しました。

出場が決まった当時は「サワラは必ず来る!」と決め込んでおりましたが、そんな時に限ってサワラは不漁、材料確保が危ぶまれましたが、「山形県おぼこサワラブランド推進協議会」の会員皆さんの協力を得て、出場にすることができました。



当日はあいにく小雨が降ったりやんだりの天候だったため客足が鈍る心配がありました。関係者の心配をよそに、Fish-1グランプリ開催日は約6万人ものお客様がお越しくださいました。このようなイベントにご来場くださるお客様はさすがの魚好きで、食べた後に「美味しかったよ!」とわざわざ感想を下さる方が多くおり、結果に期待するとともに、スタッフ一同大変励みになりました。

結果は「準グランプリ」とあと一步でしたが、「庄内おぼこサワラ」の美味しさを東京で大いに発信できたと確信しました。ご協力頂きました全漁連をはじめ関係者の皆さんに感謝いたします。

平成30年度 水産業振興に関する要望書提出

国は平成29年度から5か年の新たな水産基本計画において、漁業の成長産業化と資源管理の高度化を最重要課題に掲げていますが、我が県においても、資源回復の強化が喫緊の課題となっています。

また、漁業の担い手・後継者確保のために、漁船等の漁業生産手段の確保に対する支援強化により生産体制の確立と漁業経営基盤の構築を図っていく必要があります。

当漁協は「浜の活力再生広域プラン」等の実践により各種事業の推進と浜の活性化、漁業経営の安定化に取り組むため山形県をはじめ、市町行政に下記内容の要望書を提出いたしました。

要望事項の骨子

1. 県産水産物の価値向上・需要拡大について
2. 産地市場の機能充実について
3. 「豊かな海」の実現に向けた取組みの推進について
4. 漁業の担い手の育成・確保に対する支援の充実について
5. 漁業経営安定化対策について
6. 北朝鮮からのミサイル発射に係る対応について
7. 酒田本港漁港区・鼠ヶ関港・由良漁港の整備促進について
8. 山形県合同海難救助訓練に対する支援について

